

NEWS LETTER 83

VOL. TAKE FREE

News Letter

vol.83

2017年11月1日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

特集ページ
宝翔祭開催!!
Student! 解体新書!
瀧 絢乃さん
Teachers at Work!
近藤 真彫 先生
マンガ連載
『はらぺこ新宿食い道楽
マシマシ!』第7話

HOT TOPICS
授業紹介

2018年度東京メディア芸術学部の AO入試がリニューアルします!

2018年度(2018年4月入学)から、東京メディア芸術学部はAO入学選考の方式をリニューアルします。
受けたい領域が決まっている方向けの「作品評価型」と、まだ領域が決まっていない方のための「意欲評価型」の2つの方式を採用。受けたい領域が決まっている人、決まっていない人の両方に対応したAO入試に変わります。

- POINT 1** AO入試の受験方法が2種類に。
作品と人物評価を行う「作品評価型」と『宝塚大学で学びたい!』という意欲を重視する「意欲評価型」の2つのAO入試を実施いたします。
- POINT 2** 「作品評価型」は「AO面談」時に作品が必要になります。
事前に「受験対策セミナー」を受講することで、自己作品について知ることができます。
- POINT 3** 「意欲評価型」では、「AOプログラム」を実施。
自身の学びたい領域についてのワークショップを行い、学びたい領域について決定。その後領域ごとに面談を行います。

OPEN CAMPUS 2017 SCHEDULE

ミニ
オープン
キャンパス **11/25** [時間] 13:00 ▶ 16:00

<実施内容>
・留学生向け説明会 ・入試直前講座 ・先輩とのフリートーク ・キャンパスツアー 他



ACCESS アクセス

- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約3分
- 地下鉄丸ノ内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分



≡ CONTENTS ≡

宝翔祭開催!!

Student! 解体新書!

湊 絢乃 さん

Teachers at Work!

近藤 真彫 先生

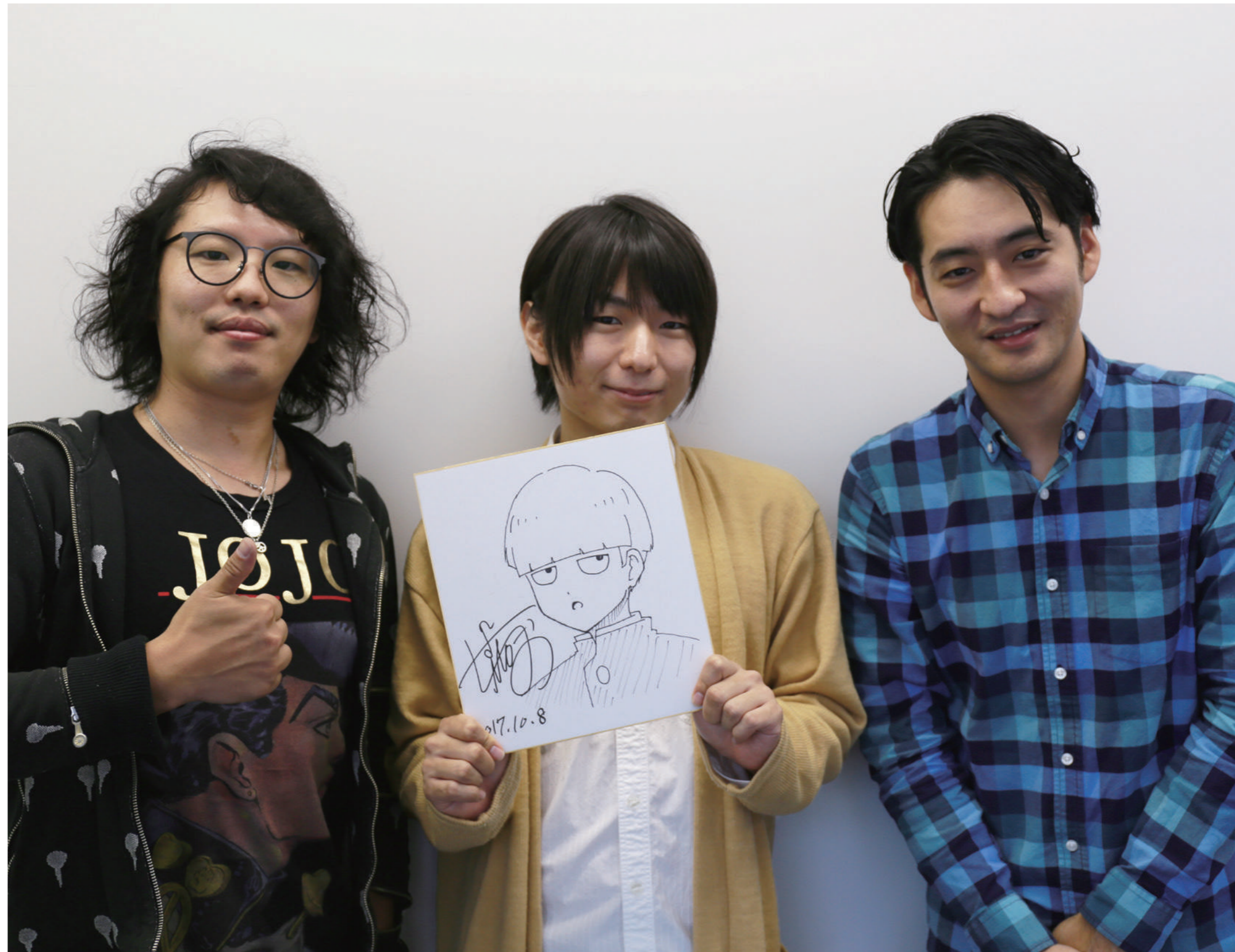
連載マンガ

『はらぺこ新宿食い道楽 マシマシ!』

第7話

HOT TOPICS

授業紹介



▲左から芦谷耕平講師、伊藤節生さん、立川譲監督

祭開権!!



町あかり

シンガーソングライター、町あかりさんによる毎年恒例のライブパフォーマンス。町さんワールド全開でした。



とりとぱんだ

女子2人による歌2曲、ダンス1曲のパフォーマンスは各曲盛り上がりました!!



モブサイコ100の立川監督、主演の伊藤節生さん来る!!

アニメ「モブサイコ100」の監督立川譲さんと主人公のキャラクターボイスを担当する伊藤節生さんのトークショーが行われました。



僕たちのアニメ王国

アニメーション領域による展示&体験会が行われ、来場者は手描きによるアニメ制作を体験していました。



ぼむおと愉快的仲間達

コスプレ5人組ユニットによる、完コピダンスパフォーマンスは、あのアイドルユニットが画面から出てきたようでした!!



EGOBAGファッションショー

1年生が、自らの自己を爆発させて作成した「エゴバック」を身につけ、ステージに設置されたランウェイを歩きました。



即売会

4階では食販の他に即売会も行われていました。来場者は様々なアイテムを興味深そうに見ていました。



アニソンDJ

みんなが大好きなアニソンがDJのオリジナルmixで流され、大盛況でした!!



がんばれ僕らのムービーガ

舞台の照明を使用した、インタラクティブパフォーマンス!!



Entrance

入り口前ではホットドッグを販売!!

コスプレサークル

コスプレサークルのダンスは、まるでキャラ本人が踊っているかのよう。動くたびに歓声が上がりました。



軽音サークル

いつもお祭りモードな軽音サークル。バラエティーに富んだ選曲で会場を盛り上げました!!



あもあもあもものうち

1年生女子4人組によるダンスパフォーマンス。自己紹介パートはコントもあり、会場を沸かせました!!



YDK

やればできる子、通称「YDK」によるダンスパフォーマンス。圧巻の演技でした!!



4F

食販が中心となった4階。常に多くの人で賑わっていました!!

Student! 解体新書!

東京メディア芸術学部にて在学中の学生に突撃取材する企画!
学生のリアルな生活、好きなもの、こと、持ち物まで赤裸々に公開します!

ふちあやの 湊 絢乃

アニメーション領域4年生
軽音サークル所属
1995/10/18生まれ 横浜出身
私立大森学園高等学校卒業。
音楽番組の映像制作会社に就職予定。
マイペースでわがままで自由で無理やり前
向きがモットー。



←犬のボーチのポブ
ライブスタッフや会議の移動が激しい
ときなどに手ぶらで行動出来るように
スマホやリップクリーム、大事な鍵など
を入れて一緒に仕事をしています。



↑なんでもボーチ
基本デジタルなので画材は無くボールペ
ンのみ。デジタルデータ作業には必須の
USB入れ。
容量がたくさん必要なため64Gのもの使っ
ています。



↑ポートフォリオ
就職活動するにあたって必要な資料。
4年間の活動全てが詰め込まれたもの。
内装デザインもーから授業で制作しました。



↑パソコン (Mac Book Pro)
大学入って初めてのMyパソコン。デジタル
派のため絵を描くことから動画編集はもち
ろん、ソフトが多く入っている。



↑好きな人の作品集
世界観がとても参考になります。見てる
だけでモチベーションが上がります。
天野明さんのイラスト集と、タカハシヒ
ロユキさん下書き・線画集



↑授業用ファイル
アニメの授業で使うコンテやキャラクター資料。
授業の空き時間や、ふとアイディアが浮かんだ時
に演出などを見返せるよう印刷したものをもち
歩いています。

始まりは漫画と絵

現在、アニメーション領域の4年生です。昔から絵を描くのが趣味で、小学校の時から仲の良い友達を描く漫画の絵を真似して描いていました。全部趣味だったので、とにかくずっと描いていました。少女漫画も『ちやお』や『なかよし』などたくさん読んでいました。目がまん丸の、女の子の絵を描くのが好きでした。中学は美術部でしたが、高校では部活には所属しないで絵を描いていました。

中学の途中までは、友達の影響から描くのは漫画の絵が中心でした。ですが、だんだん自分の好きなジャンルも見つかって、いろんな絵柄を描くようになっていきました。少女漫画風、シブブルな作風、ちよっとシニールな作風、といったように描く絵によって絵柄に変化をつけるようになったんです。その頃から、自分はシナリオを考えて絵を描く漫画はあまり向いていないのではないかと、手法を用いて絵を描くのが好きなのではないかと思い始めました。

やりたいことがわからない。
だから宝塚を選んだ。

進路選択の時、当時の私には将来の夢はありませんでした。まだやりたいこともわからないのに、大学に入って、一つの専門分野をずっと学んで行くことが受け入れられなくて。宝塚大学は、領域を選択しても興味のある領域をどんどん開拓して学ぶことができることが魅力的でした。

アニメーション領域を選んだのも、「アニメーション領域

りたい」という訳ではなく、単に「自分の絵が動いたらいいな」「ただのイラストよりも、動いた方が面白そう」と思ったからです。もしかしたらやっぱり漫画をやりたいなるかもしれないし、一枚のイラストとして勉強したくなるかもしれない。宝塚なら入学後の選択肢が多く、幅広く学ぶことができるかわかり、即決で宝塚を選びました。将来の夢はありませんでした。が、「好きなことを仕事にしたい」ということは強く望んでいました。好きなことを仕事にすることを仕事にしても楽しくありませんから。この考え方は、ずっと大好きなヴィジュアル系バンドの影響もあると思っています。彼らは「ヴィジュアル系はこうあるべき」という常識を全く無視して新しいスタイルでやっていました。そのやり方にとっても共感して、ファンになり、私も「こうあるべきだ」という考えにとらわれず、好きなことを続けていこうという気持ちになりました。いつか彼らのミュージックビデオに関わるということを目標に頑張ろうと思っています。

概念にとられ過ぎず、
自分の好きなものを。

入学して、やはりいろいろな領域に手を出して学ぶことになりました。卒業制作もそうですが、完全にアニメーション一本ではなく、アニメと実写を融合した映像の制作をしています。音楽も好きなので、ミュージックビデオを作っています。音楽から制作して、それに合わせて映像を作っていくことかと思ったのですが、なかなかうまくいきませんでした。そんなとき、先生に「ミュージックビデオという概念に捉われすぎず、広く遊んでみたい

んじゃない？」とアドバイスを受けて、自分のやりたいことを作品の中に詰め込んでいってみようと思っています。それから、「1作のクリエイタースタンプと着せ替えを作っています。これは当初、『キャラクター創造基礎』という授業の一環だったのですが、先生に勧められて販売するに至りました。思ったより人気になって今も継続して制作しています。授業の一部が実際に世に出ていくのを見られるのは楽しいですね。

きっと高校生時代は、私と同じように「やりたいことがわからない。」という人は多いと思います。でもそんな人にこそ、宝塚大学で幅広く学んで、選択肢をどんどん増やしていくって欲しいと思います。好きなことを手放さずに、自分のやりたいことを見つけれられると思いますよ!

湊さんの作品



軽音サークルに所属していて、校内で開催されるイベントに出演しています。メインはギターを担当!



作品名「ふちのひよこ」
「ふちのひよこ」LINE STORE
<https://store.line.me/stickershop/product/1387112/ja>

Teachers at Work!

東京メディア芸術学部に在籍している講師たちを紹介するページ!
学校での活動のほか、外部での仕事が多いのが本学の特徴でもあります。



こんどうまほり 近藤真彫 先生

Profile

英国イーストアングリア大学美術史学科修士課程、東京藝術大学大学院芸術学専攻修士課程修了。美術史家。
専門は西ヨーロッパの中世美術(写本挿絵)や19世紀イギリスの中世趣味。2001年より大学などで英語の授業も担当。

英語からより新しい世界へ

授業では英語や論文執筆に関わることを教えています。私の専門は美術史なので、宝塚大学以外では美術史の授業も担当しています。学生時代、当時は英文学専攻で、その中でも詩人が絵も描くような時代を中心に学んできました。歴史と文学と美術が全部一緒になった美術史を専門にすることになり、今もその研究を続けています。

最近は海外に行かなくとも、ネットを通して世界と繋がることができるようになったので、多くのクリエイターが世界を意識して活動をしています。宝塚大学にも「英語をちゃんと勉強したい」と思っている人や、「英語に挑戦したいけど抵抗がある」という人が多いので、英語へのハードルを下げられたらと思います。TOEICで何点を目指す、というようなシステムティックな英語の勉強も大切ですが、外国語を通して物事の新しい見方を得て欲しいと思います。英語という視点から見た、新しい世界や価値観、多様性まで感じてもらえたらいいですね。

宝塚大学生ならではの感受性

授業で教えていて、宝塚の学生は感性が豊かだと感じるがあります。マンガを描いたり、ゲームやイラストレーションのストーリー性などに触れているためでしょうか。わずかな言葉のニュアンスの違いなどに敏感です。意味は同じでも、使い次第で雰囲気が変わる、そういう「変化」をとっても敏感に受け入れているように感じます。「アーティストなんだな」と感じますね。言葉のセンスが鋭いので、その感性を大切にもっと勉強して、より自分自身の世界を広げていってほしいですね。そんな彼らを見ていると、言葉の面白さや、言葉から見える文化、異なる考えなどが自然に吸収されていくような英語を教えることが求められているように感じています。

美術史は、言葉を使って美術を語っていく、という学問です。ですから、語学とも少し繋がりがあがるのです。例えば小説だと、物事を説明するのに2ページも使ってしまうのに、イラストだったら一枚で済んでしまう。言葉にしたものと、ビジュアル化したもの、どちらにもそれぞれの良さがあり、その比較をしつつ各々の重要性を捉えられたらと思います。

最新の作品を下から支える立場

美術史を専門にする私にとって、クリエイターは尊敬する存在です。最新技術を使って新しい作品を生み出すのは素晴らしいことです。宝塚大学で教えること

になった時、他の先生方と違って私は専門領域がなくて「どこでどんなことができるだろうか」と考えました。学生たちが作っているものは常に最先端のもので、その背景にはずっと昔からの芸術が生きています。それらをもっと学ぶことで、生み出される作品に深みが生まれると思います。クリエイターにはオリジナリティが求められる風潮がありますが、学生のうちは、もっと過去のものにも触れて欲しいですね。美術館に行くなど歴史的作品を知り、どんなものが評価されてきたのかを学ぶべきです。古くから人が積み上げてきたもので、しかも現代まで残っているというのはそれなりに価値があるものですから。それを知ることがオリジナリティを養うこともあるでしょう。過去のものや伝え、知識として補足していくのは私の役目だと思います。

過去のものとはつまらないという若い人もいます。大人たちも悪いのかもしれませんが。ゲームやマンガはダメ、美術館や博物館は良い、などという価値観を押しつけられて自然と避けるようになってしまっているという声もあります。しかし、別の世界ではないのです。マンガを描くにしても歴史的なことが重要になったり、ゲームの世界も神話が元になっていたりと、繋がっていますから。抵抗せずにどんどんいろんな世界に触れていくって欲しいと思います。



『卒業制作及び論文(キャリア)』の授業風景
四年生に最終課題の指導を行う近藤先生。



近藤先生が翻訳した著書
ティム・マクレイト『デザインの日常英語』
2009年、左右社



う、美しくて
直視出来ない……！
こういう落ち着いた
天ぶら屋さん
初めてだけど
凄く美味しそうだね！

幕ノ内
おまたせしました！

第1内(ランチ): 1300円

はらぺこ 新宿食い道楽

第7話 ママシ



だから
昼ごはん食べに
行くって言うてん
でしょ!!



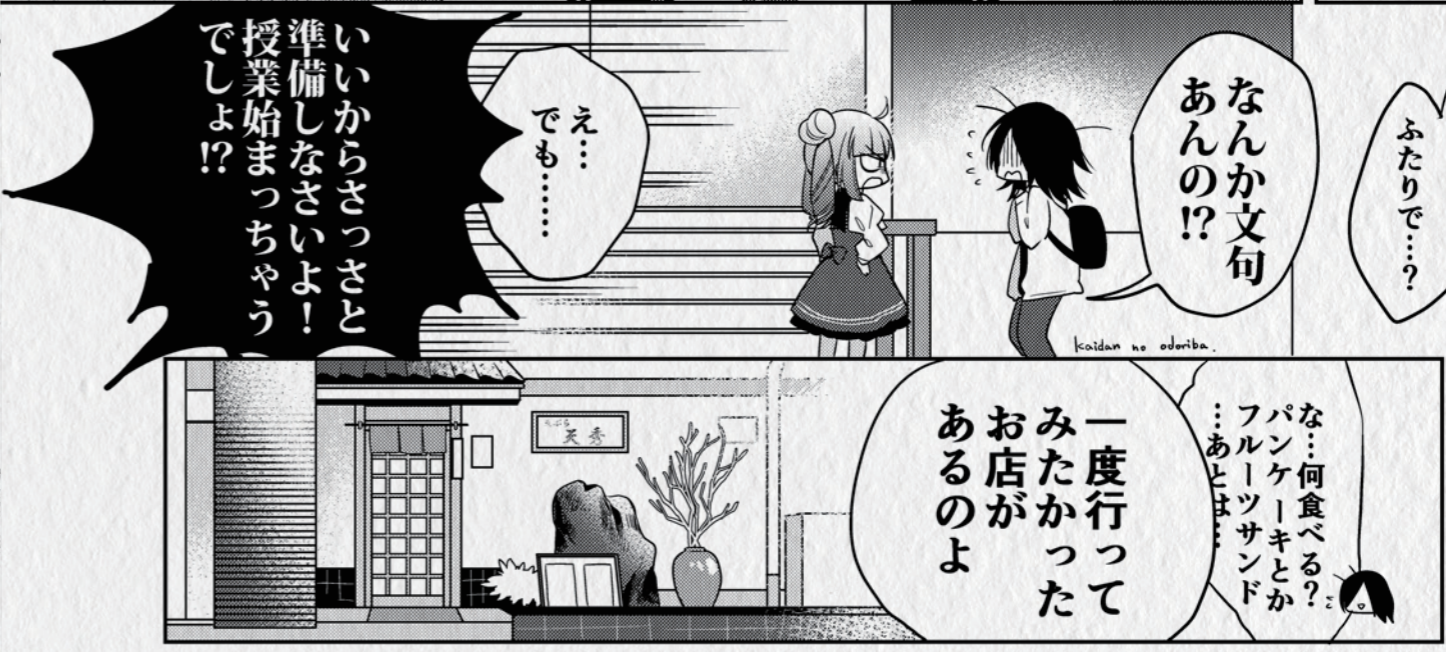
えり?



……
すっごく
幸せ……!!

衣はサクッサクで
中はフワフワ……
噛みしめる度に
食材のうまみが
口の中いっぱい
広がるこの感じ……

ん……
美味……!!



いいからさっさと
準備しなさいよ!
授業始まっちゃう
でしょ!?

え……
でも……

なんか文句
あんの!?

ふ
ふたりで……?



な……何食べる?
パンケーキとか
フルーツサンド
……あとは……
一度行って
みたかった
お店が
あるのよ

このマは?
宝塚大学の原ちゃん色とペコとペこりん色と浅葱くん色
大学周辺の美味しい飲食店を紹介します!



……美味しそうに
ごはん食べてる
ぺこりん……
好きだなあと
思ってる……

はあ!?

キモい事言ってる
せつかくの美味しい
ごはんが冷めない
うちにさっさと
食べなさいよ!



……って
何見てんのよ

えっ

てんひで
天秀
東京都新宿区西新宿
7-12-21
月～金
11:30～13:30
17:00～22:00(LO21:00)
土・祝日
17:00～22:00(LO21:00)
日曜定休日
大学から徒歩4秒

原ちゃん
今日のお昼は個設が
あるので一緒にごはん
に行けませんか?
10:11 (未読)



お待たせしました、
天井になります

天料(ランチ): 900円

アクティブラーニングを促進！ PC演習室をリニューアル

2017年9月に、6階のPC演習室をリニューアルいたしました。
学習効率化のため、大画面で薄型の液晶モニターを3台導入し、正面の1台は80インチのタッチパネルを採用。その他、教室内で人が集まれる空間の確保や壁全面のホワイトボード化など、同教室内で個人作業・グループコミュニケーションを円滑に進める施策を図りました。
新しくなった環境で学生の制作意欲をより引き出し、更に効果的な授業を行ってまいります。



HOT TOPICS

新宿区地域イベントのデザイン部分を 総合的にプロデュース

デザイン表現研究室の学生が、新宿地区のイベント「若松ふれあいまつり」のデザイン部分を一手に引き受け、研究室で学ぶデザインを実践する場として、総合的なプロデュースを行いました。ポスター、看板などの広告デザイン。パンフレットやイベントで使用されるシートなどのエディトリアルデザイン。会場での導線の確保やブース配置、会場の装飾など空間デザイン。そして各ブース看板のグラフィックデザイン。研究室で学んだことを存分に生かし、イベントを盛り上げました。来場者や主催者からイベントがとても盛り上がったと好評を博しました。



高校の文化祭で投影するプロジェクショ ンマッピング制作に協力

岩倉高校(東京都台東区上野)の文化祭「岩倉祭」でのプロジェクションマッピング制作にデザイン表現研究室が協力いたしました。渡邊哲意准教授と研究室の学生たちが中心となり、絵コンテの描き方から投影壁面の測量法まで、細かく指導。「岩倉祭」は2017年9月23日(土)・24日(日)に開催され、制作協力したプロジェクションマッピングは学校生活をテーマとしたもので、オープニングイベントで体育館に投影いたしました。



竹内一郎教授がプロデュース。 演劇作品が上演

東京メディア芸術学部マンガ領域の竹内一郎教授が、作・演出を手掛ける演劇公演「民主主義の種—熊楠が孫文に伝えた世界—」が、11月2日(木)から5日(日)までの間、紀伊国屋ホール(新宿東口)で、上演されました。19世紀に生態系エコロジーを日本人ではじめて提唱し、出世も名誉も求めず「知ること」のみに一生を捧げた南方熊楠。竹内教授がずっと書きたいと思っていたテーマです。1901年、和歌山県山中を舞台に、南方熊楠と革命家孫文の親交を描いた作品は大きな反響を呼びました。



新宿区の健康づくり推進キャラクターを作成！

新宿区健康部健康づくり課とデザイン表現研究室の学生達が、渡邊哲意准教授指導のもと新宿区民の健康づくりを推進するキャラクター「しんじゅく健康フレンズ」を協働で考案し作成いたしました。今回作成した3体のキャラクターは、健康づくりの基本である「運動」「栄養」「休養」をテーマにしており、区民の健康寿命をのばすことを使命に、『からだにいいこと』を楽しく区民に届けられるよう健康づくりの普及啓発を展開していきます。



本学学部生と大学院生が環境芸術学会にて、 今までの大学での活動を発表。

10月に開催された環境芸術学会にて、本学メディアデザイン領域学部2年生の峯岸実夢(クラーク記念国際高等学校)が、毎年行っているヘッドマークを小学生と制作し、実際に走行するワークショップについての改善点と報告をポスター発表にて行いました。また大学院生修士2年生の石川雄仁(渋谷教育学園渋谷高等学校)は修士論文の内容について口頭発表を行いました。自分たちが行っている活動を整理し、外部のフォーマルな場で発表するという体験を通し、より自分たちの活動に対する理解を深める体験になりました。



スポーツ・レクリエーションイベント 『新宿スポレク』に体験コーナーを出展

毎年体育の日で開催されるスポーツとレクリエーションの祭典『新宿スポレク』に、新宿区健康部健康づくり課とデザイン表現研究室が協働で、体験コーナーを出展いたしました。
壁に投影された風船に手をかざすと赤外線センサーが動きを認識し、小さな子どもでも手が届くように、地面から天井へ浮き上がる風船割りのインタラクティブ映像「バルーンキャッチャー」を制作いたしました。楽しみながらの健康づくりをサポートしています。



東京メディア
芸術学部の
これから

11月のミニオープンキャンパス

【日程】11/25(土) 【時間】13:00~16:00
【内容】教員・先輩とのフリートーク、留学生向け説明会、
入試直前講座ほか

AO4期入試情報

<作品評価型>
【エントリー期間】9/25(月)~11/20(月)
【AO面談】11/25(土)

その他入試情報

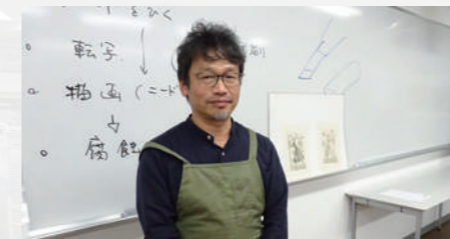
<公募推薦、自己推薦、留学生、社会人>
【出願期間】11/1(水)~11/10(金)
【選考日】11/19(日)

11月の受験対策セミナー

【日程】11/25(土)
【時間】10:00~12:00
【内容】AO入試(作品評価型)・推薦入試・一般入試などで必要な入試作品(自己制作作品)の
「学科共通作品(デッサン)」と「領域選択作品」の解説。
※本講座の制作作品は「学科共通作品」として提出可能です。



版画表現ってどんな授業?



四宮 義幸 講師
アーティスト。金沢市立美術工芸大学美術学部美術学科、彫刻卒業。版画工房「マグノリア・プレス」代表。北見隆、ジュディ・オング、天野喜孝、ほか多数の作家の版画制作に、刷り師として携わる。

どんな授業?
印刷の基礎を学習し、同じ原理で作られる「版画」の技法をそれぞれの版画種について実践や見学に重点を置いて学びます。
印刷技術の発達で簡単に複製生産、印刷ができるようになった現代ですが、あえて版画技法を習得することで現代で主流の表現のみではなく、過去の表現方法を知ることにより視野を広げ、表現の幅を広げられます。
身につく力
銅版画、水性木版画の制作及び各版画表現の知識技術が学べます。
この日の授業内容
取材日は下書きの作成、銅版に写した線を尖った針(ニードル)でなぞり溝を作る作業を行いました。
潜入した編集委員の感想
実際に先生が制作した版画の様々な表現を見て、版画の技法を変えることにより、同じ絵が全く違う絵に変化していることに驚きました。
版画の幅広い表現を学び、学生達は馴染みのない技法に驚きながらも、友人と共に完成後を想像しながら和気あいあいと制作していました。

編集後記

雨の日が続く寒い日々が続いていますね。気温の変化が激しいので風邪などにお気をつけ下さい。
さて、今号は10月に開催された宝翔祭について特集しました。とても盛り上がった2日間だったと思います。
楽しい行事が終わってしまいましたが気を引き締めて今年の授業、最後まで頑張ってください。楽しみましょう。
それでは、来月のニュースレターもよろしくお願ひ致します!



NEWS LETTER 編集部

- | | | | |
|--------------|-----------------|--------------------|-------------------|
| Editor | 金澤 英樹 (本学職員) | Assistant Designer | 佐々木啓美 (3年) |
| | ミネシゴ (フリーライター) | | |
| | 上田 桜子 (フリーライター) | | 『はらぺこ新宿食い道楽マシマシ!』 |
| | 宇部 佑哉 (本学職員) | | 作 画: あゆ丸 (大学院2年) |
| | 宮幸 仁美 (本学職員) | | |
| Art Director | 渡邊 哲意 (本学准教授) | | 表紙テーマ『イザナミ』 |
| | 石川 雄仁 (大学院2年) | | 作 画: 市川 昌紀 (3年) |
| Designer | 松原 麻友 (4年) | | |
| | 石原亜矢子 (4年) | | |
| | 大泉 夏紀 (4年) | | |
| | 吉田咲也花 (2年) | | |
| | 山本亜弓那 (2年) | | |

